

議案 No.34

中学校整備事業

問 田原中学校の屋内運動場等空調設備の整備の工期は。

答 令和8年7月から令和9年2月までの工期を想定している。

問 どのような空調設備であるのか。

答 これまでの5校と同様、ガスヒートポンプ方式の空調設備とする予定である。

議案 No.29

令和8年度一般会計予算

防犯啓発・地域巡回事業

問 新設予定の防犯カメラの設置場所を高松一色交差点とした理由は。

答 高松一色交差点付近には、警察が設置している車両ナンバーを自動で読み取る装置、通称Nシステムが既に設置されており、今回防犯カメラを設置することで車両ナンバーと併せ、車両の特定や乗っている人物、人数等の解析に有効であるため。

商業地活性化推進事業

問 令和8年度は田原市民まつりを行わないと聞いているが、その経緯は。

答 愛知県からアジア・アジアパラ競技大会によるイベント抑制の依頼を受け、休止することとした。
(3/10 予算決算委員会)

農業委員会運営事業

問 農業委員会や農地利用適正化推進委員が現地調査をした結果、その後農地を遊休農地にさせないための取り組みとしてどのようなことが行われているのか。

答 新たに遊休農地と判断された農地の所有者に対して、利用意向調査を実施している。農地を貸したい、売りたい、自ら耕作する等の項目にチェックをして返信するもので、次年度も継続して実施している。

農業経営活性化事業

問 タハナをプロモーション業務として自立した運営体制の構築を図るとのことだが、どのような業務を想定しているのか。

答 SNS等を活用した情報発信、または販売促進の提案、実施など、タハナの認知度向上と販売促進につながる取り組みを行う業務を想定している。

田原地区まちづくり事業

問 三河田原駅周辺にぎわい創出業務で、たはら屋台村として社会実験の実施に至った経緯は。

答 柳町駐車場においては、新規創業・開業の促進を図り、にぎわいを創出する飲食店を中心とした施設整備が望ましいが、すぐに本格的な整備をするのではなく、簡易な形で社会実験を行って検証すべきといった方針が、田原市街地活性化協議会で出たため、その方針に沿って社会実験の実施に至った。
(3/11 予算決算委員会)

訪問型サービス事業

問 介護予防やフレイル対策として行われる訪問型サービス事業では、具体的にどのような支援を行うのか。

答 自宅や実際の生活の場に専門職が訪問し、利用者の生活課題に応じた支援を行う。実際の生活場面での評価、指導を行うことで、生活の中で自信を持って取り組めるよう支援していく。

児童クラブ運営事業

問 児童クラブの運営を10月から民間事業者者に委託することだが、年度途中に民間に委託することによって、児童クラブの運営に支障が出ないのか。

答 現状の児童クラブの運営の仕方を継続する形で民間委託を考えたおり、運営に支障を来すことがないように進めていく。
(3/12 予算決算委員会)

議案 No.33

下水道事業会計予算

問 ウォーターPPPの導入は、下水道事業の健全な経営につながるのか。

答 民間事業者のノウハウを活用することによる施設運営の改善や維持管理の効率化による歳出抑制と、汚水管の改築に係る費用等に国の交付金を充当する歳入確保が、経営の健全化につながると考えている。
(3/13 予算決算委員会)